

グローバルに移動する人々 — 文化の交流・ことばの教育・相互理解 —

研究の概要

(1) 移民研究

移民の歴史を記録し継承することを目的としています。移民研究は、異文化への適応やことばの継承の問題、また労働のために近年来日している日系の人々をはじめとする多様な文化背景を持つ人々との共生という課題が深く関わっています。100余年も前に労働を目的として、ことばも文化も異なる国へと海を渡った人々から、現在に生きる私たちも、さまざまな学びを得ることができます。

(2) 英語教育 (3) 観光と異文化間コミュニケーションの研究

児童の外国語活動における効果的な指導法や指導者研修プログラムの開発を目的としています。外国語を身につけることは、言語のスキルを高めることだけでは充分ではありません。国際理解の視点も不可欠です。また観光においても、ツールとしての言語のスキルと、異なる文化背景を有する人々との交流を図るために異文化間コミュニケーションに関する学びが必要とされます。

以上、すべての研究はグローバルに移動する人々に関わる諸課題の研究といえます。

研究の特徴

- (1) 主として和歌山県の移民について研究。本県の歴史の一端を継承する試みとして和歌山大学・紀州経済史文化研究所主催による展示によってその成果を発信してきました。
- (2) 小学校5・6年生で、外国語活動が必修化されています。国際理解の視点を取り入れた指導者研修プログラムの開発に取り組んでいます。
- (3) 訪日観光客の受け入れに際し、文化背景の異なる人々との間で生じる課題について、異文化間コミュニケーションの観点から考えています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ◇小学校外国語教育における指導助言、指導者研修プログラムの開発と実施
- ◇移民・移住の歴史に関する講演や展示
- ◇観光における異文化間コミュニケーションに関する講演

研究者からのメッセージ

研究分野を活かして連携できることがあれば、共に考え、取り組んでいきたいと思っております。

研究分野 : 小学校英語教育, 移民・移住に関する研究, 観光における異文化間コミュニケーション

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 観光学科・教授・東 悦子

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp